

城南第三営業部

～ 毎回市の目玉商品をご案内しています ～ 【2021年1月28日号】



今月からお目見え
新商品

赤松 集成材

- 10.5×10.5×4.00
- 10.5×10.5×3.00
- 12.0×12.0×3.00



売れ筋商品

杉 KD側取

- 3.0×10.5×3.00
- 3.0×12.0×3.00
- <福島県産>



人気商品につき
完売中...
ご注文承ります

杉 GRN特等

- 2.0×9.0×4.00
- <宮城県産>



杉 KD側取

- 3.0×10.5×3.00
- <福島県産>



売れ筋商品

杉 KD側取

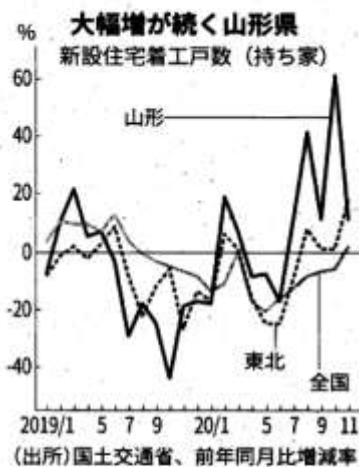
- 4.5×10.5×3.00
- <福島県産>



杉 KD芯込

- 4.5×9.0×4.00
- <宮城県産>

山形の住宅着工 5ヵ月連続2桁増



山形県の住宅着工戸数 た4～6月はマイナスだ（持ち家）が5ヵ月連続で2桁増を続けている。7月以降は大幅な増で2桁増を続けている。加に転じている。全国や大きな要因と指摘される東北と比較しても2月以降の年間を通じた三隣亡 降、増加率はほぼ「真し（さんりんぼう）」の反動で上回っている。

増。家を建てるには不向きとされる年を避け、その翌年に着工が増える現象で、令和の時代にも根深く残っている。

2020年11月の山形県の住宅着工戸数（持ち家）は前年同月比10・8%増加した。新型コロナウイルスの感染拡大で企業活動が大幅に制限された19年が亥年だった。

「三隣亡」の反動増？

独自の風習 根強く残る

「月に2日ほどある三隣亡の日、柱など構造する人の多くが説明を受けることを避け、三隣亡にあたる年は「三隣亡」と語るの、市村工務店（山形市）の市村清一（34）は自配慮する建築関連の言葉や書かれた仮柱を立てることにしている。年間三隣亡については「層の解説だ。『風習があることは書にも出てこない。庄内地方や最上地方では言い伝えられていたが、全県に広まったのは比較的最近だ」と説明する。

市村社長は「住宅会社が購入を促すための営業トーク」「誤った解説記事が広まった」という2つの原因を推測する。その理由を推測する。その理由を推測する。その理由を推測する。



三隣亡の前年に仮柱を建てる
尾形ホーム（山形県鶴岡市）

銀山形事務所長だった12年、「山形県『年間三隣亡』の経済面への影響」との論文をまとめた。特定の時期に需要が集中し、景気刺激策が効きにくいなど弊害を指摘した。

迷信と言われても、市村工務店の市村社長は「近所に気にする人がいるかもしれない、やめるにやめられない状況のようだ。」

ただ、低価格住宅で成長するクリエイティブ（山形市）は「新しい分譲地では三隣亡の影響はない」という。県内では若い世代の流入を狙った分譲地開発を自治体も後押しする。植林教授は同調圧力がかかる経済構造は消費にもマイナス。解消することも合理的」と

日本経済新聞
(2021年1月23日)より抜粋

株式会社 山形城南木材市場

第三営業部担当: 柴崎・木村

〒990-2307 山形市表蔵王60番地の1
TEL.023-688-2200 FAX.023-688-2012
Email: jonan@mmy.ne.jp